コミュニケーションペーパー（COMIPA）

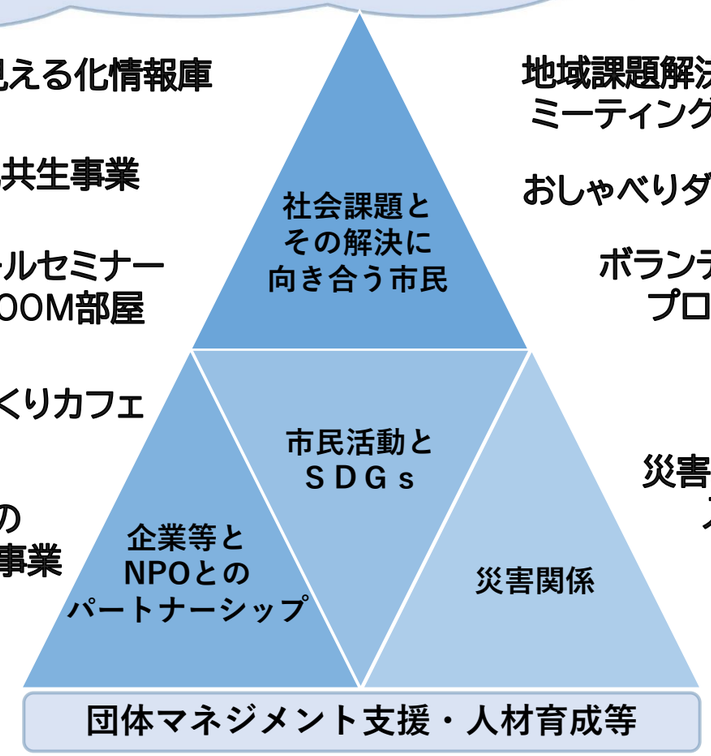
おやま～る

2022年6月

13号

おやま～る重点ピラミッド！2022年度も頑張ります！

おやま～るは2021年度の事業を更に発展させ、重点ピラミッドを軸に、様々な事業に取り組みます！市民活動を行う皆様と一緒に、小山市の活性化に更に貢献していきたいと思いますのでよろしくお願いします！



- 地域見える化情報庫
- 多文化共生事業
- オンラインツールセミナー おやま～るZOOM部屋
- SDGs×まちづくりカフェ
- NPOと企業とのパートナーシップ事業
- 傾聴講座
- NPOレベルアップセミナー
- 地域課題解決ミーティング
- おしゃべりダイヤル
- ボランティア体験プログラム
- 災害ボランティア入門講座
- おやま防災
- 託児ボランティア講座
- などなど

おやま～る2021年度の様子

コロナ禍の中、自分たちの取り巻く社会について考える機会が持てるような事業を展開していきました。また、市民活動が貢献する場面は非常に多く、NPO団体がより活動の幅を広げられるように、寄り添う支援を多く実施しました。

地域×SDGsゼミ

課題解決ミーティング

NPOパワーアップセミナー

活動資金獲得と寄付について本気出して考えてみた

コラム

個人のボランティアから団体の社会貢献活動へ

私は「おやま～る」のコーディネーターとして2年間従事してきましたが、この度、2022年4月1日付けでセンター長に就任いたしました。不慣れなこともあると思いますが、これからどうぞよろしくお願いいたします。

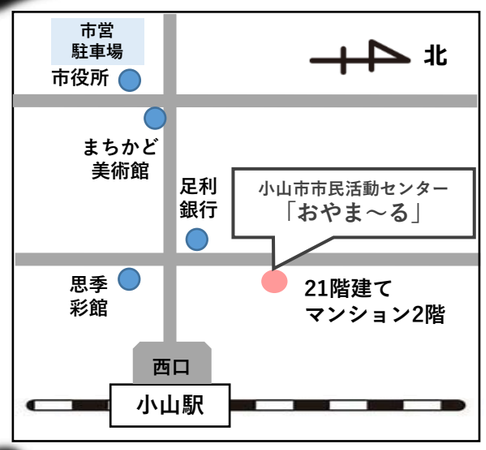
先日、道を歩いていたら「すみません。ポストオフィス、行きたい」とぎこちない口調で話しかけられました。郵便局が近くにない場所だったので「今、私たちがいるのはこの辺りです。少し遠いですが、郵便局はこの辺りです。」と自分のスマホの地図アプリを使いながら案内をしました。案内中に少し違和感があったので「何しに郵便局へ行くのですか？」と英語で聞いたところ「切手を買いたい」とのこと。「あぁ、それならすぐそこのコンビニで買えますよ。自分も同じ方向なので一緒に行きましょうか？」と伝えると、驚きと喜びが混ざった表情で「Thank you!」と答えてくれました。そして少し談笑しながら一緒にコンビニまで行きました。「喜んでもらえて良かった」と私自身もホクホクしながら、その日一日頑張ろうという気持ちになりました。

上記は英語でのコミュニケーションを通して、目の前の人に喜んでもらえた個人のボランティアのストーリーです。個人のボランティアによる些細なことでも誰かの役に立てる場面はあります。さらに、同じ思いを抱いた個人が集まり、団体として「社会をよくするために何かやってみよう！」という想いが芽生えると、公益の社会貢献活動に繋がっていきます。私たちはそのような社会貢献活動団体がどんどん社会を素敵にしていってほしいという想いで小山市市民活動センターを運営しています。

さて、語学を用いた団体の社会貢献活動として、外国人支援を小山市で取り組む登録団体「小山市多文化共生進路ガイダンス実行委員会」の活動に感激したことがありますのでご紹介させていただきます。こちらの団体は外国語でコミュニケーションを取ることができるボランティアを募り、「日本語でのコミュニケーションが不自由な中学生のための進路相談会」を年に一回実施しています。また、他県在住の小山市に引っ越すことになった外国人中学生が、高校進学に関して「おやま～る」に相談しに来た際、間に入ってスムーズに高校進学のサポートをしてくれました。迅速で的確な対応に「この団体は本当に社会（小山）を良くするために活動をしてくれているなぁ」と、とても感激しました。

「おやま～る」は「安全・安心でみんなが希望のもてる社会」を目指しています。そこで、このコラムを読んでいる皆様に、小山市をより素敵にするためのお願いをさせてください。活動している団体におかれましては、今一度、自分たちの活動の意義をメンバー間で共有し、団体が行う社会貢献活動について確認し合ってください。メンバーの社会貢献に対する意識が強固になれば、団体の活動が活性化され、その数が多ければ多いほど小山市全体がより素敵でみんなが暮らしやすい「まち」になっていくと思います。どうぞよろしくお願いいたします！

（センター長　宮岸誠）



小山市市民活動センター「おやま～る」
（指定管理団体：ゆめ評定）

〒323-0025
栃木県小山市城山町3-7-5
城山・サクラ・コモンビル2階

Tel: 0285-20-5562
Mail: info@oyamaru.net
Web: https://oyamaru.net

開館時間　9：00～21：00
休館日　年末年始（12/29-1/3）

コウノトリのヒナが生まれるのが毎年恒例になりましたね。
人もコウノトリも更に住みやすいまちにしていきましょうね！

市民活動センターからのお知らせ

小山市市民活動センターの6月、7月の催事

NPOレベルアップセミナー

「団体の立ち上げや仲間集め、資金の確保、事務や会計、活動の伝え方など」をテーマに、学び、考え、自身と団体のレベルを上げましょう。今回は「NPOの事務」と「NPOのつくり方」について学びます！

〇NPOの事務
内容：「決算報告」を中心にNPOの事務仕事を学びます。
日時：6/8（水）13:30～15:30　　講　師：古河大輔（小山市市民活動センター）

〇NPOのつくり方
内容：組織の立ち上げや考え方、法人化に関することを学びます。
日時：7/2（土）16:00～18:00　　講　師：古河大輔（小山市市民活動センター）

定員：10名(各回)（申込必須）　　参加費：各回500円
場所：おやま～る　研修室　　申込み：HPの申込みフォームもしくは電話・来館

オンラインコミュニケーションツール（Zoom）の使い方を一緒に学ぼう

初級編は初めて使う人向けに対面で学びます。ZOOM部屋では遠隔で実践的にZoomの使い方を学べます。

〇初級編（Zoomをはじめて使用する方）
内容：Zoomを使って会議に参加できるようになります。
※ノートPC（カメラ、マイク搭載）、スマホ、タブレットをご持参ください
日時：6/24（金）13:30～15:00　　講　師：藤本尚彦（小山市市民活動センター）
定員：6名程度（申込必須・先着順）　　参加費：各回300円（資料代）
場所：おやま～る　研修室　　申込み：HPの申込みフォームもしくは電話・来館

〇おやま～るZOOM部屋（Zoomを繋げることができる方）
日時：毎月第一月曜日、第三日曜日の13:30～14:00（年末年始は除く）
場所：Zoom会場（ミーティングID ： 986 4069 0168、　パスコード ： 123123）

『ジブンゴト』のまちづくり～今から・これから～

ボードゲーム「Get The Point」 を通して持続可能なまちとこれからの自分たちの未来について楽しく考えます。

日時：6/9（木）10:00～12:00　または　7/30（土）10:00～12:00
定員：10名　　申込み：HPの申込みフォームもしくは電話・来館
場所：おやま～る　研修室　　参加費：無料
共催：ほけんプロジェ

誰ひとり取り残さないために　～課題解決ミーティング～　第1回

誰ひとり取り残さない地域にするために、課題を深掘りし解決策に向けての意見交換の場を設けます！第二回の今回は高齢者福祉を軸にまちづくりを行う一般社団法人えんがおの取組みを学び、みんなで話し合います。

日時：7/10（日）13:30～16:30　　講　師：濱野将行氏（一般社団法人えんがお　代表理事）
定員：20名（申込必須）　　申込み：HPの申込みフォームもしくは電話・来館
場所：おやま～る　研修室　　参加費：無料
共催：Oyama de 未来カフェ

災害ボランティア入門講座　～災害支援の基本の“き”～

災害ボランティアに参加するための心構えや注意点など、基本を学ぶ講座です。

日時：7/31（日）10:00～12:00　　講　師：李仁鉄氏（にいがた災害ボランティアネットワーク理事長）
定員：20名（申込必須）　　申込み：小山市社会福祉協議会 (TEL 0285-22-9501)
場所：おやま～る 研修室　　参加費：無料
共催：小山市社会福祉協議会

「初めての方のための傾聴入門講座」に参加しませんか？

傾聴に必要な姿勢や態度など心構えや基本的な傾聴について学びます。

日時：7/10（日）10:00～12:00　　講　師：黒川貢氏（栃木県傾聴ボランティア連絡協議会　会長）
定員：20名（申込必須）　　申込み：HPの申込みフォームもしくは電話・来館
場所：おやま～る　研修室　　参加費：無料
共催：小山市社会福祉協議会　　小山市傾聴ボランティア協議会

教えて！あなたの団体活動！

登録団体紹介

～とちぎ災害ボランティア団体 YAMBE(ヤンベ)～

インタビューした方：代表　町田親政さん

気仙沼市の炊き出しの様子

とちぎ災害ボランティア団体YAMBE（ヤンベ）は、2011年の東日本大震災後に「自分たちにできること『やんべ！』」という想いから設立した団体です。これまで「毎月1回10年継続」をモットーに気仙沼や東松島等へ足を運び、炊き出しやイベント支援、遺骨捜索活動に参加をしてきました。炊き出しに参加した3人から始まった活動は震災後も続き、現在は35名で災害ボランティアと児童養護施設の支援を中心に活動をしています。児童養護施設では、クリスマス会（サンタとして登場）やお餅つき、夏祭り等、子どもたちに寄り添った活動をしています。

2015年9月に小山市で起きた水害の際は、気仙沼から大量のサンマが届き、避難所で朝食に振舞いました。「想いを届けて、想いが戻ってくること」を感じた大きな経験でした。

また、節目として2021年8月に文化センターで東日本大震災追悼講演会を行いました。「記憶を風化させない」その想いを、特に若い世代に繋いでいく使命を感じています。

大震災から11年、被災地はインフラ整備が進んだ一方、コロナ禍でお客さんは減少しています。そのため、気仙沼市を盛り上げるイベントを企画中です。支援の想いが循環していくよう活動を継続していきます。

東日本大震災追悼公演会

団体活動にご興味のある方は、こちらまで
事務所 ：栃木県小山市塚崎1481-6　marsh mallow 内
E-mail ：hercules.1219ch@gmail.com（代表）

～音訳ボランティア郭公(かっこう)の会～

インタビューした方：代表　谷澤良一さん

活動中のメンバー

「音訳」という言葉をご存じですか？音訳とは視覚に障がいのある方に声で情報を届けることです。「朗読」とは違い、あくまで「目の代わりになる」ことが大切です。また、写真や表など目に見える全ての情報を読みます。

「音訳ボランティア郭公の会」は、昭和56年から続く団体です。主に、広報おやまや社協だよりといった行政の刊行物などを読み、要望に応えて随筆なども読んでいます。

広報おやまの場合、ゲラ（印刷物の試し刷り）をもらい、一人あたり4、５ページを担当して各自で録音した後、他の人に聞いてもらい内容の確認をします。最終的には印刷された広報と照らし合わせ、CDにしたものを視覚に障がいがある16名の方々に郵送しています。このようにして、広報おやまが一般家庭と同じタイミング（毎月1日）に届くように作業しています。

完成して郵送されるCD

音訳の他にも、年に１回、史跡探索など利用者との交流会を行っています。現在は会員14名で活動しており、新しい仲間も募集中です。新規で私たちと一緒に活動する方は、社協主催の養成講座で音訳の概要やスキルを学ぶ機会があるのでご安心ください。また、身近に視覚に障がいのある方がいらっしゃいましたら活動を紹介して頂ければと思います。

当内容は、小山市市民活動センター「おやま～る」のWebサイトにも掲載しています。
ここには書いていない魅力も掲載していますので、是非ご覧ください！
https://oyamaru.net/dantaishoukai